

さぶりめんと

痛みを解消し元気に楽しい人生を！

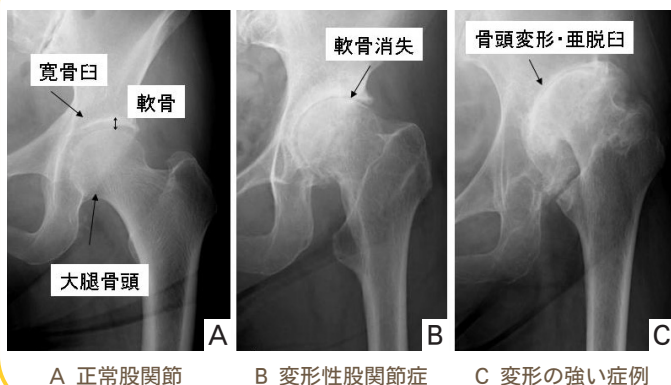
当院における人工股関節全置換術について

整形外科 安藤 渉

障害のある関節を、特殊な金属やセラミックなどでできた人工の関節に入れ替える手術を**人工関節置換術**といい、股関節・膝関節を中心に日本国内で一年間に10万例以上の手術が実施されています。

股関節は歩行時に“要”となる関節です。股関節が傷つくと、歩行時に痛みがおこり、満足に歩くことができなくなります。正常な股関節であれば、骨盤側のおわん状の臼^{うす}のようなくぼみ^{かんこつきゅう}「寛骨臼」に、大腿骨の先端の球状の頭^{だいたいこつとう}のような部分「大腿骨頭」がはまり込んでいます。その間の隙間にはレントゲンでは写らない軟骨があります(図1A)。股関節に痛みがある場合には、軟骨がすり減っている**“変形性股関節症”**という病気であることが多いです。図1Bのレントゲン写真のように、軟骨がすり減り隙間がなくなっている方もおられます。また、“変形性”という言葉のとおり、軟骨だけでなく骨そのものが強く変形し、大腿骨頭が脱臼しかけている状態(亜脱臼)の方もおられます(図1C)。

図1 股関節レントゲン写真



当然のことながら個々の患者様により、骨の太さや変形・脱臼の度合いが異なります。変形の程度が強すぎるために“手術は無理です”と言われ続けてこられた方もいらっしゃいますが、当院では様々な種類の人工関節の中から、患者様の関節の状態に応じて使い分けて対応しております(図2)。

図2 当院で使用している人工股関節の一部



多くの人工関節は海外でデザインされていますが、当院では、**日本人の大腿骨の形状に合わせてデザインされた人工関節なども用いています**(図3)。

股関節が亜脱臼し大腿骨の変形が強い場合には、変形を矯正することができる円錐型の人工関節を用いています。また、脱臼と変形の程度がさらに強い場合には、変形を治す手術を併用した人工股関節置換術も行っています。

図3 人工股関節置換術の術前と術後のレントゲン写真



このように、**個々の患者様に合った人工関節を選択することにより、その方に最適な治療を提供しております。**

手術を受けられたほとんどの方が、痛みなく元気に歩けるようになります。
痛みなく人生を楽しむために、一度専門医にご相談ください。



理念

基本方針

●● 良質な医療を働く人々に、地域の人々に、そして世界の人々のために ●●

- ・私たちは、働く人々の健康確保のための医療活動、即ち「勤労者医療」の中核的役割を担ってこれを推進します。
- ・私たちは、急性期医療機関として良質で安全・高度な医療の提供を行うとともに、地域の諸機関と連携して地域医療の充実を図り「地域に生き、社会に応える病院」としての発展を目指します。
- ・私たちは、患者様の権利を尊重し、医療の質の向上ならびに患者サービスの充実に励み、「信頼され、親しまれる病院」作りを心がけます。
- ・私たちは、「開かれた皆様の病院」として、ボランティアや有志の方々の病院運営への参加・協力を歓迎します。
- ・私たちは、病院使命の効果的な実現のために「働き甲斐のある職場」作りを行い、運営の効率化と経営の合理化を推進します。



イメージキャラクター
がれろっこ

さぶりめんと

2013-Sep.

No. 26

乳がん治療と生活の質 (QOL: Quality of life)

乳腺外科 沖代 格次

■乳がんの治療

乳がんの治療は、手術療法、放射線療法、ホルモン治療、抗がん剤治療、分子標的治療が中心となります。術後再発を抑制するために、あるいは転移・再発を起こしてしまった場合には薬物療法が主体となります。薬物療法の中でも特に、抗がん剤治療は、骨髄抑制、肝機能異常、腎障害、消化器症状(悪心・嘔吐・下痢)、脱毛、皮膚障害などの副作用のために日常生活をおくることが困難な場合があります。



■生活の質(QOL)を考えた治療へ

しかし最近では、治療の選択を行う上で、**QOL***という視点が重要になってきています。例えば、大規模な臨床試験*においても、評価項目の中に抗がん剤の治療効果以外に、患者さんのQOLを評価に入れることが多くなってきています。また、過去に抗がん剤治療を受けたことがある患者さんからの意見を元に、役立つ情報や生活のヒントが書かれたパンフレットを作成し、情報共有するなどの取組がなされています。

※QOL(quality of life)とは、一般に、ひとりひとりの生活の質のことを指し、その人がどれだけ人間らしい生活や自分らしい生活を送り、人生に幸福を見出しているかということを尺度としてとらえる概念。

※臨床試験とは、多くの患者さんに参加していただき、新しい薬や治療法が従来の薬や治療法(標準的な治療)と比べ、有効性や安全性の面で優れているかどうかを比較試験で確認します。



乳がんに関する情報パンフレット

■当院でのサポート

抗がん剤治療は基本的に外来で通院しながら行います。『外来化学療法室』においての治療となりますが、快適に受けていただける環境を整えています。また、乳がん看護認定看護師*による外来を実施し、病気や日常生活に対する不安を気軽に相談できるようにしています。



快適に治療を受けていただけるよう配慮された外来化学療法室



さらに医療連携総合センター内には、『がん相談支援室』があります。がん看護専門看護師*をはじめとする相談員が、がんについての不安や悩みにお答えしています。お気軽にご相談ください。がん相談支援室直通 ☎ 06-4869-3390



各種情報提供スペースを兼ねた待合コーナー



乳がん看護認定看護師がご相談に応じます

これからも当院では、乳がんになってもQOLを保ちつつ、自分らしくいきいきと過ごしていただけるようサポートしていきます。



「がん相談支援室」相談員があなたとご家族をサポートします



がんに関する情報コーナー

※がん看護専門看護師とは、がん看護のスペシャリストで、がんに関わる問題を抱えた患者さんやご家族の意思決定、症状緩和、療養などのご相談にのり、その方々の個々の状況に応じた支援をしています。

※乳がん看護認定看護師とは、乳がん看護のスペシャリストで、乳がんの告知を受けた後の精神的なサポートや治療選択のサポートをします。また、手術後、乳房の変容に対するケアやリンパ浮腫の予防および症状緩和のための指導、治療による副作用に対する支援や相談を行います。

独立行政法人 労働者健康福祉機構 関西ろうさい病院

尼崎市稲葉荘3-1-69 TEL 06-6416-1221(代)

HP <http://www.kanrou.net/>ブログ <http://kanrou.blog106.fc2.com/>

発行人 林 紀夫 編集人 堤 圭介

